

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

## ◆中核人財の育成

人財育成の最終段階となる

新入社員

入社3～5年

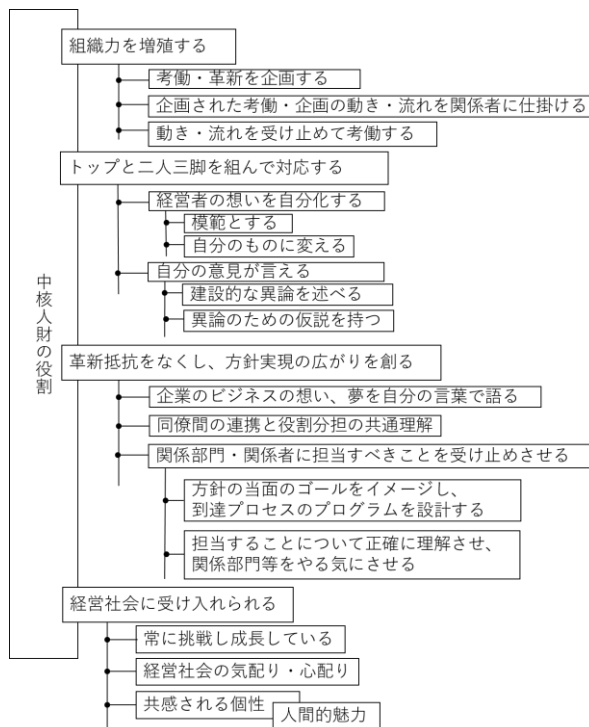
初級管理者

中核人財

「中核人財」の役割と育成について、詳しく解説します。

## 《中核人財の役割》

現代の企業環境では予測不能な変化が常に起こり得る。その中で、環境変化を自律的に捉え、経営者と二人三脚を組みながら、企業を変身させる「中核人財」の存在が企業力の盛衰に大きな影響を与える。経営者は常に状況の変化に対して最適な判断を下さなければならない。しかし、その判断を組織全体に理解させ、考働に移すことは容易ではない。特に、組織が大規模になればなるほど、意思決定の浸透はより困難になる。このような状況の中で、経営者の意思を迅速かつ正確に組織内に伝え、考働に移すためには中核人財が欠かせない。中核人財は経営層と現場の橋渡し役として組織全体の協働を促進する重要な役割を担う。右図が中核人財が担う役割である。



## 《中核人財は就社社員を育てる》

中核人財は、まず組織の理念と価値観を深く理解し、それに共感し、自らもその理念と価値観を体現できる人財でなければいけない。そのため中核人財は“就社社員”から育てることが求められる（就社社員とは企業理念に共感し会社が好きで働いている人である。その他に、やりたい仕事ができればどの会社でも良いという就職社員、お給料をもらうために働いている就給社員がある）。

中核人財は組織の文化や目指す方向性をもとに自らの考働で示し、他の社員にも影響を与えることが求められる。

## ◆4月から新しく始める研究会・交流会のご案内

2024年4月より、各勉強会・研究会の新年度がスタートいたします。随時、参加のお申込みを受け付けております。新年度に向けての新たな体制づくりにぜひご活用ください。詳細はぜひお問い合わせください。

## 《DIG1（国際異業種交流会）》

世界のリーディングカンパニーを目指し、相互啓発をしながらビジネスを模索する経営者同士の国際異業種交流です。

対象者：経営者、経営幹部

開催場所：大阪

開催頻度：2か月に1回（偶数月）

## 《西山経営革新塾》

相互ディスカッション・相互啓発しながら、これからの産業社会で活躍する企業づくりを目指します。

対象者：若手経営者・幹部、事業継承者、経営幹部候補生など、企業づくりに挑戦している人

開催場所：大阪

## 《有人営業力パワーアップ研究会》

無人化が進む中でこそ求められる有人営業の必要性を認識し、その革新と有人営業のレベルアップを研鑽していきます。

開催場所：大阪、開催頻度：月に1回

## 《IoT研究会》

素人から始める手作りIoTで工場のICT化、企業のDX化に取り組み、実践的なスキル習得とイノベーション創出を目指します。

## ◆西山語録

## 「協働は1+1=4」

個人の異質な能力の組み合わせを“協働”というが、個々の能力を単純に足し合わせた「1+1=2」では協働の意味がない。協働はベクトル合わせを行い、相乗効果を生み出し、いかに“4”のパワーを発揮するかである。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ